

育成 見附

見附市青少年育成センター

〒954-0051 見附市学校町 2-7-9

TEL 0258-62-5739 FAX 0258-62-2343

E-mail ikuseicenter@city.mitsuke.niigata.jp

今年度事業の概要

令和3年度に実施した事業について、その成果などをお知らせします。

○青少年街頭育成

青少年指導員による青少年街頭育成活動は、1月、2月を除く各月に実施しました。コロナ禍にありながら休むことなく予定を熟しました。青少年指導員は、感染予防の工夫をしながら活動しました。

実施回数は61回で、昨年度と同数でした。

街頭育成活動に携わった青少年指導員の延べ人数は209人で、昨年度に比べ1人増です。

なお、3月は終わっていない活動があるため、表中の()は見込み数です。

活動中に指導した青少年の数は、延べ202人でした。このうち「交通ルール無視」に挙げた数は短時間で多数に声かけをしたもので、不正確です。実際にはさらに多いのが実態です。

声かけの対象は、高校生202人以上でした。そのうちの11人が屋外での迷惑行為、191人以上が交通ルール無視の行為でした。なお、この数は注意の声かけをした少年の人数で、街頭で出会った少年への声かけの数は含みません。

「交通ルール無視」は、自転車運転での安全確認不履行、公道への飛び出し、無灯火、スマホ(両耳イヤホン)をしながら、でした。

道路交通法により、両耳にイヤホンを着けて自転車を運転することは違反行為になります。青少年指導員は、両耳イヤホンの自転車運転を「ながら(運転)」として、注意の声かけの対象にしています。

「その他」は、見附駅駐輪場などでの地べた座りとPLANT 5 駐車場通路に駐輪し往来の邪魔をしたことへの声かけでした。

実施数・活動指導員数

	実施数	指導員延べ人数		
		男性	女性	計
4月	4	4	8	12
5月	4	5	7	12
6月	7	12	14	26
7月	7	9	13	22
8月	7	11	14	25
9月	7	13	13	26
10月	7	8	15	23
11月	7	12	13	25
12月	7	12	12	24
3月	(4)	(9)	(5)	(14)
合計	(61)	(95)	(114)	(209)

指導対象少年延べ人数

	対象少年延べ人数		
	男性	女性	計
4月	10	10	20
5月	6	2	8
6月	15	10	25
7月	19	11	30
8月	12	10	22
9月	20	21	41
10月	14	5	19
11月	20	15	35
12月	0	2	2
3月	-	-	-
合計	116	86	202

学職別指導内容

※ () は女性の数

学職 行為	幼 児 小学生	中学生	高校生	一般少年	計
ゲーム機遊び					
交通ルール無視			191(83)		191(83)
喫 煙					
買い食い					
その他			11(3)		11(3)
合 計			202(86)		202(86)

○青少年育成相談

今年度の相談件数は、6件でした。そのうち、電話相談が5件、面接相談が1件でした。昨年度と同数でした。電話相談が増えました。

相談内容は、いずれも不登校に関することで、保護者と病院職員からの相談でした。

相談件数

	面接相談	電話相談	合計
不登校	1	4	5
いじめ	0	0	0
その他	0	1	1
合計	1	5	6

○シェイクハンド学校訪問

シェイクハンド学校訪問は、市内の8小学校と4中学校を学期ごとに訪問し、各校の生活(生徒)指導上の問題について話し合い、問題解消に向けた支援を行うものです。学校教育課管理指導主事と青少年育成センター所長がペアで行いました。訪問の際は、いじめ、不登校(傾向)の児童・生徒についての話題がほとんどでした。

訪問回数

	1学期	2学期	3学期	合計
小学校	8	8	8	24
中学校	4	4	4	12
合計	12	12	12	36

○実施しなかった事業

例年実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため実施しなかった事業は次のとおりです。

- ・青少年を取り巻く社会環境実態調査
- ・「育成見附」の発行(例年3回発行していましたが、今年度は2回に縮減)

街頭指導報告から

6月～

6月24日

見附駅では、高校生が試験期間で、電車の乗降客、駐輪場の自転車が少なかった。

公園に人影がなく、コンビニ、スーパーでも買い物客が少なかった。

外出自粛の意識が続くなかで、今夏も寂しい季節で終わるのかと思うと若者たちが気の毒である。

7月25日

駅前で地べた座りをしていた高校生女子が、巡回中の私たちを見てすぐ立ち上がった。

駅のホームで地べた座りをしていた高校生男子4人に対して、駐輪場2階から新しい(青少年指導員)腕章を振って手でだめサインをすると、立ち上がって頭を下げた。目立つ腕章にしてもらってよかった。

8月26日

見附駅で、M高の女子生徒2人と少し話をした。高3で、進路を自宅から通える所に決めたと、明るい感じで応えてくれた。

男子高校生2人(N高)にも声をかけた。将来は東京へは行かず県内で専門学校か就職を考えているとのことだった。

- 青少年指導員は、名札(指導員証)と腕章を着けて街頭指導に当たっています。
- 悪い行為を注意するだけでなく、道行く青少年をあたたく見守ります。

9月15日

見附駅で、駅舎に入る前の段差の所に高校生女子4人が地べた座りをしていた。声かけをすると返事をしながらすぐ立った。

駐輪場の2階では別の高校生女子3人が座っていた。なかにはスカートであぐらをかいている者がいた。運動着の半ズボンであぐらをかいていた生徒は最後まで声かけに応えず座ったままでいた。遅くならないうちに帰るよう話し、その場を離れた。

10月5日

PLANT 5の駐車場で、市内の高校生1人と長岡市の高校生数人がバイクと自転車であぐらをかいていた。バイクは枠内に停めてあったが自転車は通路に停めてあった。他のお客さんの迷惑にならないように、交通ルールを守ってヘルメットをかぶることなどについて声かけをした。受け答えはきちんとしていた。

11月18日

駅駐輪場で、若い女性が自転車の鍵を紛失し困っていたので一緒に探したが見つからなかった。女性はバッグに合いカギがあることに気づき、札を述べて帰って行った。一安心。